

2016.10.2/立命館大学大阪いばらきキャンパス

2016年度日本政治学会研究大会・分科会C-6

## 「18歳選挙」の政治学

討論者:西川伸一(明治大学)

nisikawa1116★gmail.com

(★→@)

### 1 初の「18歳選挙」の投票率

総務省2016年9月9日報道発表

「平成28年7月10日執行

第24回参議院議員通常選挙年齢別投票者数

-18歳・19歳(全数調査)-

-年齢別投票者数(抽出調査)-」

<http://www.soumu.go.jp/senkyo/24sansokuhou/>



くらしの中に

総務省

MIC Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## ①18歳・19歳有権者の投票率

(%)

	18歳+19歳	18歳	19歳	全体の投票率
全数調査	46.78	51.28	42.30	57.70

20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
33.21	37.91	43.66	46.37	50.30

- ▶40歳未満のどのレンジよりも高い投票率
- ▶今後の投票率に期待できるのではないか

## ②都道府県別の18歳・19歳有権者の投票率

〔18歳・19歳ベスト5〕 (%)

	都道府県	18歳・19歳	全体
1	東京都	57.84	57.50
2	神奈川県	54.70	55.46
3	愛知県	53.77	55.41
4	奈良県	51.63	56.89
5	埼玉県	50.73	51.94

〔全年齢ベスト5〕 (%)

	都道府県	投票率
1	長野県	62.86
2	山形県	62.22
3	島根県	62.20
4	秋田県	60.87
5	新潟県	59.77

- ▶ 大都市部を抱える4都県ランクイン
- ▶ 高校での積極的な主権者教育の成果か？



## 参院選 18歳投票率高い地区 県警、高校に教育内容確認

横浜・青葉

選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられた7月の参院選で、18歳の投票率が高かった横浜市青葉区の県立高校3校に対し、神奈川県警青葉署が「特別な取り組みをしたのか」と問い合わせていたことが、県警と県教育委員会への取材でわかった。弁護士約130人が参加する自由法曹団神奈川県支部は、「教育内容への不当な干渉」などと抗議する声明を出した。

総務省が各地で18〜19歳の投票率を調べた結果、同区の1投票所では18歳の投票率が73・49%で、全国平均の51・17%を上回った。青葉署によると、この情報を受け、高橋幸治署長が署員に理由を聞き取るよう指示。署員は3校に電話で「学校で取り組んだ啓蒙活動があれば教えてほしい」などと依頼し、学校側は

「県全体で取り組む模擬投票などの主権者教育をした」などと答えたという。

自由法曹団神奈川県支部は、同署の対応を「警察権の乱用」と批判。「選挙違反の取り締まり権限を有する警察」による問い合わせは、主権者教育を行う教員に著しい萎縮効果を与えることになる」と指摘した。

同署の蛭田正志副署長は「管内の一つのトピックとして任意で聞いた。警察権の乱用にはあたらないと考えている」と話した。県教委高校教育課の岡野親課長は「現場が圧力などを感じることはなかった。青少年の健全育成のための一般的な情報収集と受け止めている」としている。

2016.10.2/立命館大学  
大阪いばらきキャンパス

## ③神奈川県警 の高校「照会」

「現場への  
萎縮効果」



「一つのトピック  
として聴取」

## 2 各報告者へのコメント・質問

### ① 苅部報告

高校補助教材『私たちが拓く日本の未来』(2015)

「市民」不在で「公共」が語られる問題性

「世田谷**市民**大学」の用語法は1960年代以降に定着

松下圭一、丸山眞男の功績



兼業「市民」のすすめ、新しい「公共」の創出

▶「未来図」はどうイメージすればよいのか。



## ②羽場報告

### ネット選挙の技術的問題点

アメリカでコンピュータがクラッシュして投票数が不明になった。

ネット選挙は若者の政治参加拡大への大きなツールになる。

「液状民主主義」＝「テクノロジーを使い政治を変える」



▶「お手軽民主主義」「お手軽投票」でいいのか。投票日、投票行動の**厳粛さ**は無視していいのか。例)期日前投票の増大。

### ③佐々木報告

2015年統一地方選「史上ワーストワン」

戦後最低投票率の更新

無投票当選者(「仮面の代表」)の急増

★民主主義が草の根から枯渇していく。



様々な改善策(例:クォータ制、「5時から議会」)を提言

▶ 被選挙権の引き下げ、学生議員への期待は？